

第3章 新施設の基本方針

中央公民館及び福祉会館は、社会教育の場として活用されており、町民サービスや地域活動、生涯学習の拠点となっています。施設の安全性確保と防災機能の維持・向上を図りつつ、人や文化、教育等との関わりを通して、地域で暮らす人々が豊かな心を育む場所の提供を目的とした整備が必要と考えます。

基本構想に定められた基本理念及び基本方針に基づき、基本計画を策定します。

3.1. 基本理念

安全安心で、集い語らい笑顔と未来を育む場

3.2. 基本方針

新施設の具体的な方向性を示すものとして、4つの基本方針を設定します。

I 地域の利便性が高く、共生・協働の場となる施設

- ・住みやすいまちとして、利用しやすい環境である施設
- ・町民サービスにおける機能性、効率性の高い施設
- ・バリアフリーやユニバーサルデザインに対応し、来庁者が安心して利用できる施設
- ・町民が集い、共に活動できる場を提供する施設

II まちづくりや災害時の拠点となる、安全・安心な施設

- ・避難所兼防災拠点にふさわしい施設
- ・多機能で、みんなの集いや交流の場となる施設
- ・地震、水害等の災害に強い施設

III 機能的で働きやすく、環境にやさしい施設

- ・スムーズかつ快適な動線を確保した施設
- ・再生可能エネルギーの利用等環境負荷に配慮した施設
- ・自然環境を活かし、省エネルギーを実現する施設
- ・機能的で柔軟性のある執務空間を確保した施設

IV 将来の変化に柔軟に対応できる施設

- ・効率的・経済的な施設
- ・高度情報化や多様なニーズ等に柔軟に対応できる施設